

3. 環境保全施策の体系

1. 目指す環境像

ここでは、本市の環境の現状と課題、市民の環境に対する意識、南丹市総合振興計画などを踏まえ、基本理念を明確にし、それに基づいて本市が目指す将来の環境像を示します。

1) 基本理念

意欲のある人

私たちは、環境をよくするために自ら考え、行動する、意欲のある人を目指します

環境保全のためには、一人ひとりの日常生活やあらゆる事業活動が、地域の環境にさまざまな影響を及ぼすことを認識し、行動することが重要です。環境を^{いっく}慈しむ心を育み、環境をよくするにはどうすべきか、自ら考え、行動する、意欲のある人を目指します。

きずなを結ぶ

私たちは、環境を^{いっく}慈しむ心をとおして「人と人」を結び、きずなの強いまちを目指します

一人ひとりの取り組みが一体となった時、大きな力が生まれ、まち全体の活気にもつながります。環境を慈しむ心をとおして、人と人がきずなで結ばれたまちを目指すとともに、市外への結びつきも広げ、人が行き交うまちを目指します。

資源を活かす

私たちは、限りある資源を活かし、持続的に発展するまちを目指します

私たちは、従来的大量生産・大量消費・大量廃棄型のライフスタイルを見直す必要があります。環境への負荷の低減に努め、限りある資源を大切にし、活かすことで、将来にわたり良好な暮らしを保つとともに、まちの持続的な発展を目指します。

自然と共生

私たちは、豊かな自然を守り、将来に残すため、人と自然が共に生きるまちを目指します

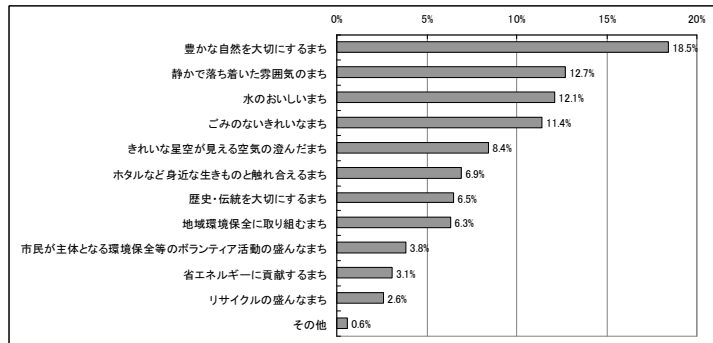
豊かな自然環境は、私たちにさまざまな恩恵を与えてくれます。このかけがえのない財産を将来に残すため、自然を愛し、自然環境と調和したまちづくりに努め、人と自然の共生を目指します。

2) 市民の望む南丹市の将来の姿

意識調査によると、自然を大切にするまち、自然に囲まれたまち、きれいな緑や川などの豊かな自然環境、おいしい水や澄んだ空気といった快適な生活環境が、特に望まれているといえます。

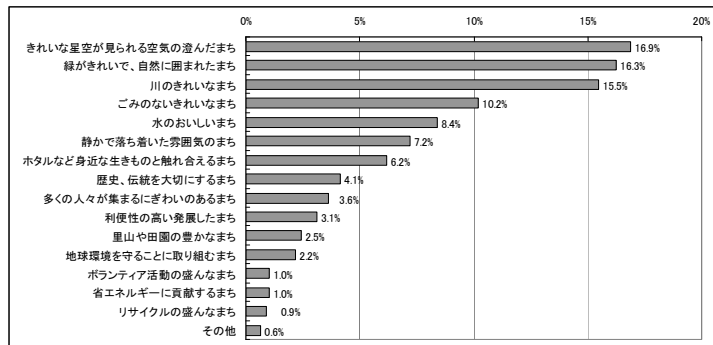
【南丹市の将来の望むイメージ —市民意識調査結果より—】

市の将来のイメージとしては、「豊かな自然を大切にするまち」「静かで落ち着いた雰囲気のまち」「水のおいしいまち」が求められています。




【南丹市の将来の望むイメージ —中学生意識調査結果より—】

市の将来のイメージとしては、「きれいな星空が見られる空気の澄んだまち」「緑がきれいで、自然に囲まれたまち」「川がきれいで、自然に囲まれたまち」「川のきれいなまち」が求められています。



3) 環境像

前述した基本理念に基づき、意識調査による市民の望む南丹市の将来の姿を踏まえ、目指す「環境像」を次のように定めます。



環境像

人と自然が結びあう “いきいき” ふるさと 南丹市

本市は、個性あふれる4つの地域が合併したまちです。

るり溪、芦生原生林をはじめとする山林、そこから流れる由良川、桂川などの河川、その間に形成された盆地に広がる農地といった、多様な自然環境が身近に存在しています。

この自然環境を背景に、農林業も盛んで、自然の恵みを活かした特産品が魅力となっています。豊かな自然は人々に憩いを与え、観光資源にもなっています。

また、本市は美しい景観に恵まれており、景観行政団体となっています。丹波国の政治・文化の中心地として栄えてきたことから、歴史的・文化的遺産も随所に存在しています。

これらはすべて、本市のかけがえのない財産であり、みんなで愛し、親しみ、守るという意思を“ふるさと”ということばに象徴します。

さらに、南丹市には、それぞれの地域に、人、環境活動団体、事業者、高等教育機関などが存在します。愛すべき“ふるさと”南丹市の環境を慈しむ心をとおして、それぞれがきずなで結ばれたふるさと、人と自然とが結ばれたふるさと、さらに、市外にも結びつきを広げ、環境を軸とした南丹市の発展を目指します。

そして、“いきいき”は、基本理念である

い：意欲あふれるまち（一人ひとりの率先した取り組みが広がるまち）

き：きずなの強いまち（人と人、人と地域が結びついたまち）

い：活かすまち（限りある資源を活かし、持続的に発展するまち）

き：共生するまち（人と自然が共生し、豊かな自然あふれるまち）

に基づくほか、

人がいきいき：快適な環境により、一人ひとりが生き生きと暮らすまち

自然がいきいき：自然を守り、親しむことにより、自然が息づくまち

まちがいきいき：人が行き交い、産業が発展することにより、活気あふれるまち

を目指すという意が込められています。

【 他の案 】



環 境 像

自然が息づき、人が安らぐ うつくしふるさと 南丹市

この環境像は、南丹市美しいまちづくり条例（平成18年）の基本理念

「市民は、南丹市の優れた自然と先人から受け継いだ歴史的、文化的遺産を将来にわたって継承し、潤いと安らぎに満ちた美しい景観と住みよい環境づくりを推進する。」

に基づきます。

自然資源を活かし、大切にすることで、自然はいつそう豊かになり、人は安らぎを感じます。自然と人が共生し、南丹市ならではの魅力に磨きをかける意が込められています。

2. 計画の基本目標

ここでは、南丹市の「環境像」を実現するため、「人づくり」「地域環境資源」「生活環境」「循環型社会」「地球環境」の5つの視点から、本計画を推進する上での基本目標を定めます。

人づくり

環境を^{いっく}慈しむ心を育み、自ら考え、行動し、協力し合います

南丹市の将来を担う子供たちをはじめ、市民、事業者すべての人の「環境を^{いっく}慈しむ心」を育み、それぞれが自らどうすべきか考え、率先して行動することを目指すとともに、みんなで協力し合うことにより、大きな力を生み出します。

地域環境資源

自然・歴史・文化 南丹のかがやきを守り、伝えます

自然資源・歴史資源・伝統文化など、地域の個性あふれる資源（財産）に積極的に触れ、みんなで大切に守り、未来に伝えます。

生活環境

思いやりを大切にし、みんなが快適に暮らせるまちを創ります

誰もが安全で安心した暮らしせるよう、公害の防止に努める他、思いやりの心を大切にし、まちの美化や身近な場所への植栽などに取り組み、みんなで快適な空間を創り、守ります。

循環型社会

資源を有効活用し、環境への負荷が少ないまちを創ります

ごみの減量化やリサイクル、エネルギーや地域資源、水資源の有効活用および循環を推進し、環境への負荷の少ない、持続可能なまちづくりに取り組みます。

地球環境

地球の未来を考えて、身近なことから地球環境保全に取り組みます

南丹市の環境が地球全体の環境と深くかかわることを意識し、身近にできる取り組みを積み重ねることで、地球環境保全に貢献します。

計画の体系

基本理念

私たちは、環境をよくするために
自ら考え、行動する、
意欲のある人を目指します

意欲のある人

私たちは、環境を慈しむ心をとおして
「人と人」を結び、きずなの強い
まちを目指します

きずなを結ぶ

私たちは、限りある資源を活かし、
持続的に発展するまちを目指します

資源を活かす

私たちは、豊かな自然を守り、
将来に残すため、人と自然が
共に生きるまちを目指します

自然と共生

環境像



人と自然が結びあう「いきいき、ふるさと」南丹市

基本目標

〈人づくり〉

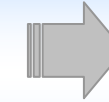
環境を慈しむ心を育み、自ら考え、
行動し、協力し合います



- 環境教育・環境学習・体験活動を推進します
- 環境に関する情報を収集、提供し、意識啓発に取り組みます
- 環境活動団体やリーダーの育成・支援に取り組みます
- 環境活動のための協働体制づくりに取り組みます

〈地域環境資源〉

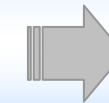
自然・歴史・文化
南丹のかがやきを守り、伝えます



- 山林・川・里の自然環境を保全します
- 生物多様性を保全します
- 伝統ある歴史・文化を伝承します
- 美しい景観を保全します
- 地域資源を活かした産業・観光を振興します

〈生活環境〉

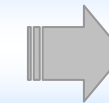
思いやりを大切にし、みんなが
快適に暮らせるまちを創ります



- 公害のない、健康に暮らせる環境を維持します
- ごみのポイ捨て・不法投棄をなくします
- 心が安らぐ快適空間を創出します

〈循環型社会〉

資源を有効活用し、環境への
負荷が少ないまちを創ります



- ごみの3Rを推進します
- 水の循環利用を推進します
- 資源やエネルギーの有効活用を推進します
- 地産地消を推進します

〈地球環境〉

地球の未来を考えて、身近なことから
地球環境保全に取り組みます



- 地球温暖化防止に取り組みます
- オゾン層破壊や酸性雨などの地球環境問題に取り組みます